

司 会 ①遠藤兄 ②間兄 ③野田兄

奏 楽

祈 禱 ①三浦兄 ②多田兄

賛 美 讃美歌463番「ささやかなる」

(衣のすそにでも)(主がここにおられます)

使徒信条

聖 書 ①② マルコによる福音書5章25節～34節(P58)

③ ローマ人への手紙11章33節～12章3節 (P249)

音 楽 ヤングチャペル(2016サマーキャンプ・テーマソング)

証 詞 ①② 三畑元長老(アブラハム会)

メッセージ ①② 「ふたつの物語・下」 倉知契副牧師

③ 「自分を変えていただきなさい」 大川従道牧師

賛 美 「罪重荷をのぞくは血の力」(425番・献金)

頌 栄 「主の祈り」アーメン

祝 禱

「ああ深いかな、神の知恵と知識との富は。そのさばきは窮めがたく、その道は測りがたい。」(ローマ十一の三十三)

## 【大和ニュース】

☆受洗おめでとうございます！ ①山林堂(さんりんどう)信吾兄(ヨシユア会)

・ 本日、入門講座Ⅲ、送迎馬車場奉仕者会、SS教師会、J.plus(中高生、学生、青年)あり

\* 「学生バイブルキャンプ」。本日より24日。山中湖。お祈り下さい。

\* 東京カルバリーは、5時。渋谷区広尾5-9-7。説教は大川牧師、特賛は坪井先生。

・ 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は坪井永城副牧師。

・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は梅津義道補教師。

☆ ご婚約おめでとう！！ 大熊太郎様と能瀬祐子様。第3礼拝後。当泉チャペルにて。

・ 「レンブランド展(複製画)」。そごう横浜店6階。9月4日まで。

## 石の枕

終戦は3歳で迎えた。東京が火の海になったのを、川向こうの葛飾区四ツ木の防空壕の傍で、ポーっとして見ていたような気がする。18才で聖書学院に入学し修養生となつてからは、真剣に戦争のこと、平和のこと、日本国のこと、アジア諸国のことを考えるようになった。本気で悩み熟考してから、56年はたつが、結論が出ないままであつた。先週のこと、『文芸春秋』の9月特別号を買って「戦前生まれの115人の遺言」を、貪り読んだ。

その中で最も心に届いたのは、稲盛和夫氏(京セラ名誉会長)のそれである。

現在の憲法は、制定に様々な経緯があつたにせよ、第九条また前文を含め、素晴らしい理想主義を貫いている。改憲派はそれに対し、「我が国をとりまく情勢は緊迫度を増している。日本を敵対視する国家の信義に期待するのか」と批判する。

私はたとえ現実がいかにあれ、国家間の信頼をベースとして、平和主義を貫くという姿勢を、今後も堅持すべきだと考える。殴られそうだから殴る用意をするよりも、殴られないような毅然たる態度を示し続けることが、真に勇気ある民族が行うべき所作ではないか。また、それこそが北東アジアに恒久的な平和と繁栄を導く「王道」ではなからうか。

今こそ「耐える勇気」が必要である。周辺国の挑発はあろうが、平和を心から愛し、専守防衛に徹する民族に、牙をむいて襲いかかる国は恐らくないだろう。最近の憲法改正議論は、そんな理想主義をベースとする耐える勇気よりも、「一歩前に踏み出す勇気」を強調する。しかし、その高揚した威勢のいい一歩が、国民と国家を再び奈落の底に突き落とす危険性があることを、心の底から理解しなければならぬ。(後略)

主イエス様は言われます。「人を殺してはいけない」「平和をつくり出す人たちは幸いである。それは神の子の生き方である」「敵を愛せよ」

「耐える勇気」「愛とは、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える」。人を殺すことも、人に殺されることもない国を造る努力をする！ 勿論、神との平和。人との平和。だから福音を伝えよう！！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！  
Aコース: Iコリント3章～8章 Bコース: 詩篇119篇～135篇